



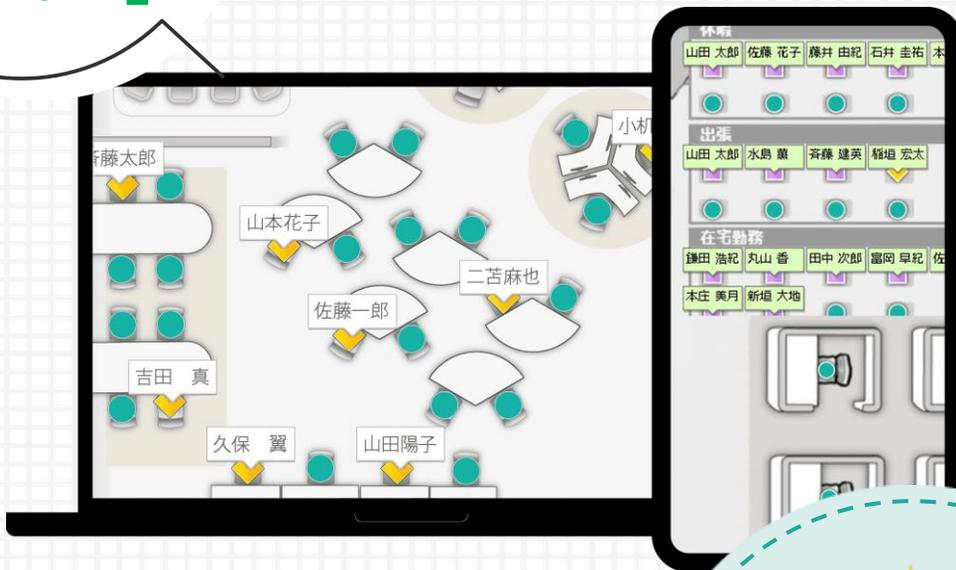
Your Desk

座席管理・行動履歴等、フリーアドレスやテレワークの悩みを解決!!

Case Study Collection

YourDesk
導入事例
ご紹介

Vol. 1



テレワークやフリーアドレスに

YourDeskで
座席管理・行動記録
(ホテリング)

YourDeskは
テレワークやフリーアドレスに対応した
座席管理(ホテリング)・行動記録を
実現するシステムです。

こんなお困りごと、ありませんか？



フリーアドレス
導入で
誰がどこにいるか
分からない



今日はテレワーク？
出社している？
お休み？すぐに
分からなくて困る！

フリーアドレス
導入後
席が固定化して
しまった…



会社から出勤率を
70%に管理する
よう指示が！
分析が必要だな

Your Deskで解決!!

Web画面上で会社・事業所内の座席を各ユーザーが「予約/着席/退席」することで、
誰がどこに座っているのか分かりやすく可視化することが出来るシステムです。
テレワーク（在宅勤務）の管理も可能です。

Point 1

シンプル・直感的

座席管理に必要な機能に絞った作りで使いやすい！
直感的に操作できるシンプルな画面も特徴です。



Point 2

手軽なコスト設定

シンプルな機能により低価格を実現
導入しやすい価格設定も魅力です。



シンプルで直感的な画面で操作しやすく導入しやすいづくり

実際に多くのユーザー様に「使いやすさ」を実感いただいています！



YourDesk の良いポイント

YourDeskは基本的なポイント(座席予約)のみで運用開始が可能な事と、
シンプルであるが故、昨今のマニュアルをよく読まない方々(笑)
であっても、**操作間違い等が少なく導入のハードルは高く無い**と感じました。



職種 電気・電子機器 業種 会計・経理 従業員規模 100-300人未満



YourDesk の良いポイント

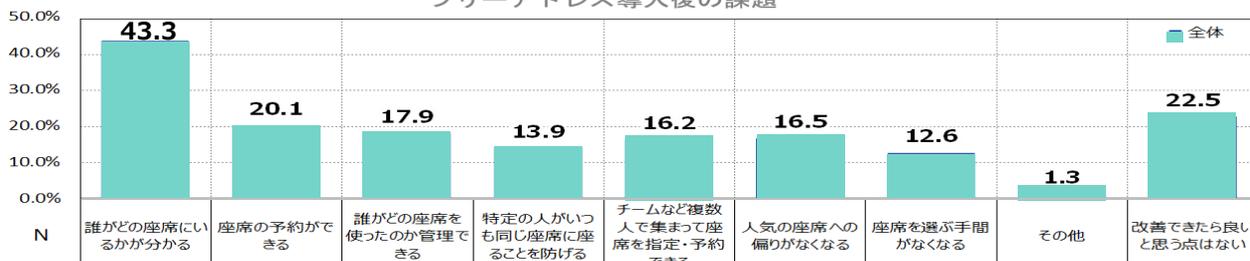
オフィスの混雑具合を可視化し、従業員が比較的空いている日時に出社を
選択できるようなサービスを探していました。
設定もレイアウト図面をベースに簡単にできました。また、視覚的に操作で
きるため、利用マニュアルを作成し**本番稼働の3日前に配布し、運用を開
始しましたが、戸惑うことなく運用開始**できました。



職種 ソフトウェア・SI 業種 社内情報システム 従業員規模 20-50人未満

フリーアドレス導入後の課題（調査結果）

フリーアドレス導入後の課題



すべての課題に Your Desk が対応!!

(フリーアドレス導入後の課題：サイオステクノロジー2022年4月、フリーアドレス職場調査1000人)

YourDesk
業種別導入数
TOP3

1位 情報通信業・IT系（約27%）

2位 製造業（約23%）

3位 流通業・卸売業・小売業（約9%）

	業種	社員数	課題
A	電子機器メーカー	約10,000	フリーアドレス採用後、 <u>誰がどこに座っているか把握</u> する必要があった。
B	電子機器メーカー	約2,500	<u>複数拠点の出勤状況を把握</u> したいニーズがあった。
C	電気通信業	約300	会社移転に伴いフリーアドレスを導入、 <u>複数フロアのため、どこに誰が座ってるか把握</u> したいニーズがあった
D	IT関連製品製造・サービス提供	約1,900	テレワークと併用したフリーアドレス導入後、 <u>出社人数が急に増え、管理する仕組み</u> が必要となった。
E	システム機器開発	約3,500	誰がどこにいるか把握したい。出社率40%～50%を維持すべく、 <u>簡単に出社率の把握</u> をしたい。
F	総合商社	約950	フリーアドレス導入後、 <u>自分の部署メンバーがどこにいるか分からなくて困る</u> と現場から不満があった。
G	モビリティ製品メーカー	約10,000	フリーアドレス導入後、 <u>席の予約をしたい、出社後、QRコードで着席したい</u> 、などのニーズがあった。
H	医療品・機器支援	約2,000	フリーアドレス導入を計画中、 <u>人と内線番号の紐づけ</u> をどうするか悩んでいた。
I	卸売・小売業	約4,600	フリーアドレス採用後も各々が決まった座席を利用するので、 <u>ランダムに座らせたい</u>
J	金融業	約1,200	フリーアドレスでもどこに誰が座っていたかを確認し、 <u>人気の席を分析、レイアウト変更</u> に役立てたい。
K	透析施設支援会社	約30	透析機器を、関係者だけで <u>予約管理</u> したい。
L	税理士法人	約50	座席の状況確認がしたい。 <u>固定席化を防ぐための仕組み</u> が必要だった。
M	シェアオフィス運営	約80	<u>席の混雑具合や利用率を問合せせずに知りたい</u> とシェアオフィス利用者からの要望が多かった。
N	イーランニングサービス販売	約75	会社で出社率を30～50%に維持する方針となり、 <u>出社率の把握</u> をする必要があった。
O	通信サービス	約280	<u>上司が、部下がテレワーク（在宅勤務）か、どこに出社しているか把握</u> したい。

リノベーションを機に ワークエンゲージメントのさらなる向上を目指して



ワークエンゲージメント・スマホ利用・働きやすさ

課題

- ◆ フリーアドレスを採用したが、社員が各自座る座席を決めてしまい、フリーアドレスというものの変化のない状態が続いていた。
- ◆ フリーアドレスをより効率よく快適に実施し、働き方改革を推進することで働きやすい環境を整えたい。結果的には**部署を超えた組織の横断化**が実現し、仕事にシナジーが生まれるのが理想。

効果

- ◆ 一番のメリットとして、普段なかなか関わることのない**他部署の社員との交流や対話ができることが新鮮**だという声が社員から上がった。
- ◆ 「今日は誰と隣り合うか」という軽い高揚感は常に**フレッシュな心理状態**を維持し、自立的行動にもつながるのではないかと。
- ◆ スマホからログインして利用できるため、**スムーズに利用**することが出来た。



運用方法

本社の商品本部が39名、店舗運営本部が19名、ブランド事業部が9名、DX推進本部が8名で、計75名分です。

DX推進本部でデスクトップパソコンを使用している社員は**固定席**にしており、役員席は基本的には固定席になっています。

座席のタイプは完全に仕切った個人シートの扱いで、電話も対話も禁止というルールで利用する**集中席**のほか、**コミュニケーション**を取れる部屋を用意しています。人気が高いのはやはり集中して作業ができる集中席です。

新型コロナウイルス感染症対策ですが、もともとデスクは余裕をもって設置しているので、ソーシャルディスタンスは実現されていますし、対面しているデスクにはパーテーションを設置しています。

YourDeskは、多様な働き方を可能にする フリーアドレスに最適なツール



ランダム抽選・感染症対策

課題

- ◆ **フリーアドレスなのに席が固定**される心配があり、フリーアドレスのメリットが生まれなかったことを危惧していた。
- ◆ 新型コロナウイルスの感染の可能性がある人が、**どこに座っていたか、周囲に誰がいたか**をすぐに確認する必要があり、固定席がいいという意見が根強くあり、その点をクリアする必要があった。

効果

- ◆ **ランダム抽選機能**があるため座席が**固定化されない**。
- ◆ **どこに誰が座っていたかがわかる**ため、フリーアドレスによる新型コロナウイルス感染についての懸念点をクリアすることが出来た。
- ◆ 一度説明会を実施。「よく分からない」「ここをこうして欲しい」という声は特になく、業務用のiPhoneを利用して、**どこにいてもずっと予約**できるようになった。



運用方法

利用している部署は4部署、ID登録者は常駐メンバーが154名、来客者や外部ベンダー作業員への貸出用ID

が42です。座席数は118席で、一般の執務スペース、集中ブース、リラックスエリア、フリースペースなどに分けられています。**一般の執務スペース**は、社員+派遣用と、業務委託者用でエリアを分けており、これは法規制上、業務委託をしている方たちと分離することを求められているためです。

リラックスエリアは、通常の席よりテーブルの前が開放的なので、ゆったりした気分で仕事ができるのではないかと思います。

スケジュール管理はOutlookのスケジューラーを利用しています。さらにYourDeskを使って照会すれば、リモートなのかオフィスのどこの席にいるかが分かります。

ハイブリッド勤務で海外案件にも注力中 Your Deskは出退勤管理の強い味方に



ハイブリッド勤務・在宅勤務・利用状況の把握

課題

- ◆ フリーアドレスにした際、誰がどこに着席しているか、どこに内線を回せばよいか分からないといった課題があった。
- ◆ 座席を使う際のルールがあるので、その日の利用状況を瞬時に把握したい。

効果

- ◆ その日の利用状況を瞬時に把握できる利便性に魅力を感じている。
- ◆ 誰がどこにいるか一目瞭然で、「すごく助かっている」と社員からも好評。
- ◆ 簡単にチェックイン出来て、操作がそれほど難しくないので利用しやすい

運用方法



フロア図面の空いたスペースに社員の名簿があり、横に着席ボタンが並んでいます。在宅勤務の人はそのスペース内の自身の名前の横にあるボタンから着席するというような利用の仕方をされています。(図1)

弁理士を中心とする総勢40名ほどの職員が、出勤と在宅勤務を組み合わせたハイブリッド勤務を継続中。ワークスペースはだいたい200㎡といったところでしょうか。その中に所長室と1名いる弁理士の執務室、会議室のほか、フリーアドレスの座席が15席ほど設置されています。所長と弁理士の席は固定席ですが、弁理士や技術職員は席を自由に使うという形です。事務担当者には「事務席」という形で6席設けていて、その中で好きな座席を選べるようになっています。

「学生室」に風通しの良い交流が実現 フリーアドレス「YourDesk」は大学の研究室向き



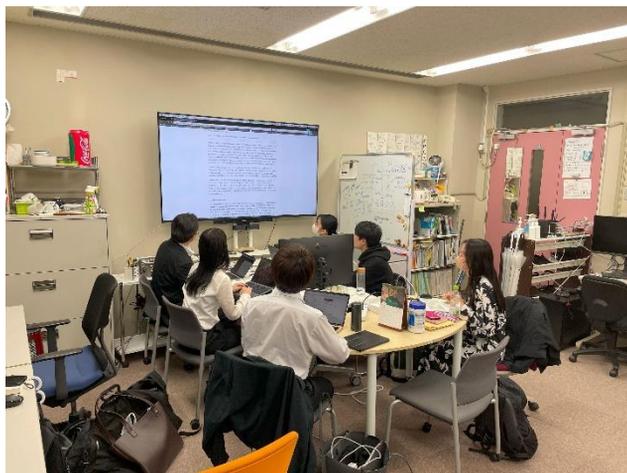
学生・コミュニケーション・交流・部屋の有効活用

課題

- ◆ 学生室の学生数に対して、**座席の数が不足**しており有効活用する必要があった。
- ◆ 利用してなくても**荷物を置いていたり、座席を占有**している学生もおり、学生室が**入りやすく使いにくい部屋**になっていた。

効果

- ◆ ミーティング利用時には予約することで、**スケジュール管理**にも活用できている。
- ◆ 手狭な学生室を上手く使うことが出来、学生同士で**学年を超えた交流も増えた**。
- ◆ QRコードでのチェックインが手軽で**今の学生に馴染み**、使いやすいと好評。



行っていて、ゼミ生がどこかに隔離されて話し合うという形にはしていません。

ゼミで学生室を使う時は、中央のテーブルを丸々占有する形になりますが、その場合は予約をしておきます。予約状況はみんなが見られるようにしているので、それを見た人は「だったら今日は外に行くか」という風に、**やんわりとしたスケジュール管理**にも活用しています。



運用方法

窓や壁に向かって設置されている個人で使うデスク=**集中席**と呼べるものと、「コラボ」と呼んでいる中央の**ミーティング用**のデスクを使用しています。ミーティングはここで



サイオステクノロジー株式会社
東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル
Tel.03-6891-9856
<https://sios.jp>
営業所： 関西・中部・九州